

## めいか

令和7年9月30日  
文京区立明化幼稚園

## 運動会のプロセスの中で学び、育つもの

副園長 山下 美幸

朝晩の涼しい風に、秋へと季節が移り変わることを感じるようになりました。その一方で、異常気象により、風雨災害に見舞われている地域もあることを耳にすることも多くなりました。被害に遭われている地域の方々に深くお見舞い申し上げます。

さて、もうすぐ運動会。年少組は、楽しく体を動かす中で自然と運動会に向かっていく取り組みをしています。例えば、かけっこでは、「よーいどん！」とケーキやドーナッツなどの絵が貼ってある三角コーンに向かって走ります。ゴールでは三角コーンの絵の前で食べるまねをし、再びスタートラインに戻って違う絵のところに並んで走るというのを繰り返しています。

年中組は、1学期からごっこ遊びをしていた忍者のイメージを取り入れて、リズム表現をします。遊びながら「忍法〇〇の術！」と言い、イメージの中でいろいろなものに変身したり、動いたり、つもりになって遊んだり、踊ったりしています。「練習」というよりも、忍者ごっこのイメージ遊びを繰り返し楽しみ、カッコいいすてきな忍者に変身できるようになったから、お家の人に見てもらいたい！という気持ちを運動会へとつなげていきます。

年長組は、運動会に向けて様々な活動に取り組んでいます。競技はもちろんのこと、司会や開会式のプログラム係、体操の先生など、運動会全体に関わる役割を担っています。保育室には「運動会まであと〇日」と書いてあるカレンダーがあり、運動会でたくさんの方に来ていただき見てもらうことを楽しみにしています。年長の競技では、リレーや綱とりなど、勝敗が決まる競技があり、毎回の取り組みの中で、勝ち負けのドラマが生じています。「負けて悔しい」感情から涙を流したり、勝って嬉しい喜びを感じたりしています。特に、リレーでは、毎回真剣勝負。そして、チームで競う競技のため、一人の頑張りだけではなく、チームの中間の力が不可欠です。負けて悔しいと感じたとき、どうしたら、勝てるのか、どうしたら早く走れるようになるのかなどを考える機会になるとともに、チーム意識にもつながっていきます。

子どもたちは、このようなプロセスを経て運動会当日を迎えます。幼児期の遊びは学びと言われている通り、遊びを通して、体を動かす楽しさや友達と一緒に取り組む面白さ、自分の力を発揮したり、チームの友達と協力したり、様々な感情体験をしたりするなど、様々なことを学び、経験しています。当日の演技・

競技をご覧になる際に、このようなプロセスの中で学び積み重ねてきた子どもたちの姿を思い巡らせながら、声援を送っていただくと幸いです。



年少組「よーいどん！」

年中組の追いかけ玉入れ！  
「待て待て！」年長組のリレー後の  
振り返りの様子